

福島第一原子力発電所

3号燃料取扱機マニピュレータ作動流体漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2020年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3号機燃料取出作業については、昨日（10月19日）に第52回目分の燃料取出作業（共用プールにおけるキャスク（輸送容器）からの燃料取出）が終了しています。（計364体/566体）
- 同日（10月19日）午後10時20分頃、使用済燃料プール内において小ガレキ撤去治具を把持する際、マニピュレータ右手（SAM1）爪の開きが通常よりも小さいことを確認しました。
- 気中に引き上げSAM1の外観・動作確認した結果、爪の開閉時のみSAM1の水圧ホースの亀裂から作動流体（水グリコール）が漏えいしていることを確認しました。
- ガレキ撤去作業は概ね終了しておりますが、小ガレキ撤去等の一部が残っているため、今後、漏えい箇所の状態を詳細に確認のうえ、対応を検討してまいります。
- マニピュレータはガレキ撤去作業に用いるものであり、燃料取り出し作業の工程には影響はなく、引き続き燃料取り出し作業を継続いたします。2020年度末までの566体の取り出し完了に向けて、引き続き安全第一で、確実に作業を進めてまいります。

